

目標に到達したことを示す成果資料

セクションA. 教職に求められる教養

■趣旨

教師になると、授業を教えるだけでなく、学級担任などとして生徒を指導する役割を担うこととなります。そこで教師には、個々の生徒の発達やニーズ、生徒たちの間の人間関係、人権、法律、他の教職員や保護者との協力といった様々な要素に配慮した人間関係構築力、生徒指導力が求められます。

このセクションでは、対応する科目的単位修得等を通して、人間として、教師として求められる教養を身につけていきましょう。そのような教養は、上述したような実践力の基礎となります。

■下記は、期待される水準の目安を示したものです。

レベル	期待される水準	レベル到達の確認年月日	
		自己評価	教員の確認
6. 合格レベル（優） (教職課程修了時)	修得した単位で得た知識をもとに、学校で起こる様々な事象について的確に観察し、その知見を踏まえて、 <u>生徒の発達を効果的に促す</u> ような学級経営案を書くことができる。		
5. 合格レベル（良） (教職課程修了時)	修得した単位で得た知識をもとに、学校で起こる様々な事象について観察し、その知見を踏まえて、 <u>生徒の発達を促す</u> ような学級経営案を書くことができる。		
4. 合格レベル（可） (教職課程修了時)	修得した単位で得た知識をもとに、学校で起こる様々な事象について観察し、その知見を踏まえた学級経営案を書くことができる。	2013 1/29	
3. 教育実習前に求められる準備レベル (およそ3回生終了時)	必要な単位の少なくとも3分の2程度を修得している。学級経営案の基本的な書き方を知っている。	2013 4/17	
2. 教育実習1年前に期待されるレベル (およそ2回生終了時)	必要な単位の少なくとも3分の1程度を修得している。	2013 4/17	
1. 学び始めのレベル (およそ1回生終了時)	日本国憲法の単位を修得している。	2013 4/17	